

議案 1

「きょうされん運動の新たな拠点づくり支部募金の取り組みについて」

きょうされんが事務局を置いている東京都生協連会館が、老朽化等に伴い、立て替えをおこなうこととなりました。きょうされん事務局は、一時移転をしたのち、建て替え後の建物に新事務局を構えることとなります。(12/17 一時移転)

これを、きょうされんがますます活動を活性化させ、全国に運動を拡げていくための「新たな拠点づくり」として位置づけ、整備・機能強化とそのための資金作りに取り組むことが第 37 回総会にて、承認されました。

この費用は多額になることから、各支部へもこの資金作りへの協力がありましたが、十分な議論がなされていなかったため、再度議論の場を持ちながら検討されました。

○地震、津波、原発事故からの復旧のため、時間もお金も人も大変厳しい状況の中がんばっている会員に、新たに募金活動等をおこなってお金を集めることは困難である。

○柱一本持ち寄って地震、津波、原発事故からの再生を目指す会員に、設備の整った新拠点の経費額には、違和感しか持てない。

などの意見交換がなされました。

その結果、当初必要額の絞り込みがなされ、きょうされん本部での寄付活動、きょうされんカレー販売による資金づくり、映画上映による資金づくりなどの形での努力が進められました。

きょうされは、私たちにとって大切なよりどころです。震災後、私たちは強くそれを感じてきました。引っ越しを余儀なくされ、全国総会で承認されたように新たな拠点は必要です。

今、福島支部の各会員事業所は、地震、津波、原発事故に立ち向かっていくために、すべてをぶつけて日々過ごしています。山積みの課題のなか、新たな取り組みは無理が生じます。よって福島支部は、この資金（532,000円）を捻出するために以下の提案を臨時総会にて会員みなさまにさせていただきます。

**「事業財政の取り組み(夏、冬等の物資販売、自動販売機、カウネット等)の
支部還元金を本年度一年間、新たな拠点づくり支部寄付金として支出する」
ただし、一年間で目標額532,000円に達しない場合は、来年度の支部還元金を
当てる。額については目標額を超える額として役員会に一任する。**

新たな取り組みではないといっても、会員さんにより一層今までの事業財政の取り組みを充実させていただく必要はあります。ぜひともよろしく願いいたします。